

第4回 富士見市文化芸術振興委員会議事録

日 時	平成30年5月24日（木） 18:30～19:40						
会 場	鶴瀬コミュニティセンター 第3集会室						
出席者	加藤	氣賀澤	高野	上川	吉川	野村	岡島
	○	×	○	○	○	○	○
	水野	肥田	関（知）	田中	長坂	関（仁）	渡邊
	○	○	×	×	×	○	○
	事務局：地域文化振興課 中嶋課長、佐藤、武井						
1	開 会						
2	委員長挨拶 加藤委員長						
3	人事異動について 新任委員委嘱式 岡田 校長先生（水谷小） 事務局 武井						
4	議 事						
	<p>(1) 富士見市文化芸術振興基本計画の見直しスケジュールについて 事務局より今後のスケジュール及び評価方法を説明。 秋口を目途に見直し案を作成。年内には最終案を文化芸術振興委員会で確認を行い、翌年2月からパブリックコメントの実施、年度内には市長決裁というスケジュールになることを了解いただいた。</p> <p>(2) 同計画の中間評価について 事務局より資料概要、事業評価の基準について説明。 協議事項については以下のとおり。 委員) 資料の相関関係がわかるものがほしい。フローチャートのようなものがあるとわかりやすいのではないかと。 事務局) 次回までに資料を追加する。 委員) どのくらいの事業費でどんな事業をしているのかで評価したい。また、個別の事業について詳細がわからないので「A」など評価を聞いてもそれが適切なのかもわからない。もっと広い視点での議論をするべきではないか。5年後10年後富士見市の文化芸術がどうなっていきたいかという話がしたい。 事務局) 例えば、平成28年度の事業報告書では個別事業ごとに予算額・決算額を記載している。しかし、細かい評価は行政のほうで行い、委員会では全体評価をみて意見をいただきたい。施策の柱に対して良いもの、もっと変えていくべきものを議論してきたいと考えている。 委員) 全部の事業を評価するというより、新規事業を行政で選んで評価し、その上で評価を全体へ反映していくのはどうか。</p>						

事務局) 個別事業は担当課でしか評価できない部分もある。評価の方法については、事務局もこれで必ずしも正しいとは考えていない。資料のわかりづらさなどはあると思うが、資料の見せ方については委員会での意見を取り入れ色々な方法を試していきたいと思っている。市としては、今後取り組む事業について重要なものを順位づけしていく必要はあるが、委員会でいただいた個別事業への意見は改めて検討・内部での調整等はしていきたい。次回の会議では、施策の柱に対する方向性など委員会で投げかけ議論していけるようにしたい。

(3) 文化芸術振興基金の活用検討について

事務局より、改めて基金の補助・助成事業について素案を提示するための他市の補助例等を調査している旨を伝えた。また、残り5年の間に条例・要項の制定を行い、基金の活用を始めたい旨も伝えた。

(4) 今後の会議日程について

委員から質問があったため、事務局より回答。

文化芸術振興庁内委員会 6月20日以降開催を予定

文化芸術振興委員会 7月初旬

※振興委員会では、次回マイナンバーの確認を行うため、通知カード等を持参してほしい旨も併せて伝えた。

4 閉会 閉会あいさつ 加藤委員長

以上